別紙様式１（高）

令和３年度　学校経営計画表

１　学校の現況

学校番号	9	学校名	茨城県立磯原郷英高等学校			課程	全日制普通科			学校長名		蛭 田 清 孝						
教頭名	鈴 木 政 彦									事務(室)長名		齋 藤 義 明						
教職員数	教諭	28	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	6	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	2	計	45		

生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合　計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数
	普通　科	39	25	39	27	60	32			138	84	8

２　目指す学校像

阿武隈の山並み、常磐の大海原と豊かな自然に恵まれ、近代文化発展の魁となったこの地で、地域の伝統及び文化を継承し、地域と共に生き、新しい学校文化を創造するとともに、知性、徳性、体力の調和のとれた人間性やひたむきに物事に取り組む姿勢を養い、適性や能力に応じた生徒一人一人の自己実現と、地域、日本そして世界の明日を担う有為な人材の育成を目指す。

３　現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	半数の生徒に家庭学習の習慣が身についておらず、83%の生徒の家庭学習時間は１時間未満であり、半数を超える51%の生徒は家庭学習を行っていない。 70%の生徒が意欲的に授業に取り組んでいるが、授業への集中力に欠ける生徒もいる。	生徒が学習に集中して取り組み、学び直しの機会を増やし、基礎学力の定着と向上を図るために、どのような授業内容の工夫と改善を図るか。
進路指導	70%を超える生徒・保護者が本校には進路に関する行事等があり、個に応じた指導がされていると考えているが、生徒自体は将来の目標を明確にできず、自己の進路希望に応じた具体的な取り組み時期が遅い。多くの生徒が地元企業への就職を希望している。	生徒の個に応じたきめ細かな進路指導をより効果的に展開するため１年次よりどのように計画的に進めていくか。
生徒指導	36%の生徒、26%の保護者が、校則が守られていない場合があると考えている。 規範意識に欠ける生徒が見られるが、指導によって挨拶や服装など改善されつつある。しかしながら、まだ十分でない。	どのように規範意識を高め、望ましい人間関係を構築する力を育てるか。
特別活動	70%を越える生徒がＨＲ活動や学校行事や部活動が活発に行われていると考えている。しかし、ＨＲ活動や学校行事に意欲的に取り組む生徒は多いが、生徒が主体となって活動することは十分でない。	生徒に学校行事の企画運営や部活動等にどのように主体的に取り組ませるか。
働き方改革	昨年度、教職員の在校時間は月平均あたり45.01時間であった。また、在校時間が45時間を超えた人数は約５割であった。	教職員数自体も減っているが、その中で教育の質を低下させずに業務内容等をどのように精選するか。

別紙様式１（高）

４　中期的目標

１　きめ細かな対応に心がけ、基本的な生活習慣の定着と規範意識の高揚を図り、自律した生徒の育成を図る。
２　部活動全員加入を原則とし、豊かな心と健やかな体を育成し、活力ある学校生活の源とするとともに、地域社会に期待される人材の育成を図る。
３　就職希望者の基礎学力向上を目指し、生徒一人一人の適性と希望に応じた進路実現を図る。
４　進学希望者が入試に対応できるための確かな学力を身につけ、生徒一人一人の適性と希望に応じた進路実現を図る。
５　生徒たちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう、教職員の在校時間の顕在化と業務改善を図る。

５　本年度の重点目標

重点項目	重点目標
基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚	①遅刻の防止、チャイム着席等の時間厳守を徹底する。 ②服装・頭髪の指導を継続的に進め、秩序ある学校生活を送ることができるよう指導を徹底する。 ③「あ・そ・ぶ・べ・な」（挨拶、掃除、部活動、勉強、仲間づくり）の行動指針を実践する。
地域社会の期待に応える人材の育成	④集団生活における自己の役割と責任を自覚させ､社会のルールやマナーを守りながら主体的に行動できる力を育成する。 ⑤地元企業や地域住民との連携など地域の教育力を活かした活動をとおして､地域の一員であることの自覚を高め、併せて地域社会で役立つ力を育成する。
就職希望者の進路意識向上と基礎学力の育成	⑥進路を主体的に選択する能力や態度を育成する。 ⑦生徒が主体的に学び考え実践する授業を心掛け、生徒の学習意欲を引き出し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。 ⑧キャリア教育を推進し、キャリア・パスポート等によって各教科や進路行事等で学んだこと、体験したことを振り返り、考えをまとめさせることで意識を改革し、生徒一人一人の特性に応じた進路実現を目指す。
進学希望者の入試に対応できる確かな学力の育成	⑨キャリア・パスポート等によって生徒一人一人に学習や生活の見通しを持たせることで、早期に目標を明確にさせ、主体的・継続的に進路実現に取り組む態度を育成する。 ⑩基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着の上に、思考力・判断力・表現力等の伸長を図る。
教職員の働き方改革を進める	⑪在校時間管理ソフトウェアを適正に活用することで、教職員自身も自らの勤務実態に向き合い、業務改善や効率の向上を図る。 ⑫教職員が自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、生徒たちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう、放課後等の会議や打合せ等を精選するなどの業務改善を図る。